

かわらばん

一般社団法人 岩手県産業資源循環協会

TEL019-625-2201 FAX019-624-1920

URL : <https://www.iwatesanpai.or.jp>



県央支部研修会



仮置場訓練 in 秋田

10/21(月)、当面する課題3件について、外部講師等から解説いただき、質疑の後に藤原支部長から支部を挙げた資質向上の決意表明がありました。

1 盛土規制法と資源有効利用促進法

「宅地規制法」を全面改正した「盛土規制法」について、県都市計画課(村上特命課長、菅原主事、有馬技師)及び盛岡市都市計画課(澤舘主査)から規制基準、許可対象、管理責任等を伺いました。

2023.5 盛土・切土・堆積等の規制強化

2024.5 新区分により県土全体を地域指定



関連事項として、建設発生土の搬出確認を強化した「資源有効利用促進法」の資料をいただきました。

2024.6 不法・危険な盛土等を防止するため、建設発生土の最終搬出先又は登録ストックヤードまでの確認を元請業者に義務化

2 10/9秋田県災害初動訓練(右欄)の伝達講習

佐藤亮厚支部理事が動画と解説により視察結果を報告して、同行した県北支部の村田英敏副支部長から本県事例を踏まえた助言をいただきました。

3 格付け制度の普及拡大

菊池次長が制度の沿革、登録のメリット、社内管理への活用を解説して、「DX化に合わせて手続きを大幅に改善した」と積極的な申請を要請しました。

10/9(水)、新沼災害対策本部長・支部役員・災害担当幹事など16名で、秋田県の「市町村職員の初動訓練(横手市、秋田ふるさと村)」を視察しました。

1 経緯

秋田県では、災害廃棄物仮置場の実地訓練を2021年から開催しています。委託先は2021年が県外コンサル、2022~2024年が秋田協会でした。今回の視察は秋田協会のご厚意により実現しました。

2 訓練内容

対象は市町村職員で、協会員が指導に当たります。主な役割は、講師、ロールプレイの相方、作業コーチ、資機材準備(車両、模擬ごみ等)などです。

座学	<ul style="list-style-type: none">・災害廃棄物の特徴・水害の注意点・仮置場の機能(一次、二次)・候補地の事前管理 
実習	<ul style="list-style-type: none">・仮置場の区画設定・搬入と荷降の誘導・クレーマー対策・国庫補助に必要な記録、写真の保存 



建設・解体業研修会

10/7（月）、昨年に続いて満員でした。講師の大竹先生はJWセンターから独立開業した方で、工事等の実務に即した関係法令の解説が好評でした。



乙部中学の環境学習

県央支部と青年部会では、盛岡市立乙部中学校の環境学習を支援しています。10/17（木）は1年生52名を(株)佐藤興産ECOセンターに招待しました。参加者は適正処理やリサイクルの施設を見学後、環境クイズ、ドローン実演等により環境配慮の理解を深めました。



海ごみゼロウィーク

県北支部では、市町村、海岸管理者等による海岸漂着処理推進法の業務を支援しています。10/28（月）は国の「海ごみゼロウィーク」の一環として種市海岸公園（江戸ヶ浜海水浴場）の清掃活動を実施しました。



事務局便り

【11月】

14（木）県外視察研修（名古屋市）

15（金）全産連全国大会（岐阜市）

【12月】

6日（金）青年部会運営委員会、研修会（盛岡市）

13日（月）中部支部研修会（花巻市、北上市）

【来年】

1/31（金）新春講演会、交流会（盛岡市）

2/ 4（火）[JWセンター講習修了試験](#)（盛岡市）

※3コース：処分新規、処分更新、収運更新

2/18（火）BUN先生・優良事業者研修会（盛岡市）

◆編集後記◆

県庁前の銀杏の黄葉が鮮やかです。朝夕の冷込みが増してきたので、ご油断なくお過ごしください。

今月の一口メモ 11/5は「津波防災の日／世界津波の日」です。会社や自宅を点検して災害に備えましょう。



青年部会視察研修

10/30（水）～11/1（金）、熊本県の石坂グループで先進リサイクル技術や2020年豪雨復旧に貢献した人吉モデルをご教示いただきました。震災ミュージアムの見学や地元青年部会との交流など充実の行程でした。今後とも、新規入会のご推薦をお願いします。

